

建設キャリアアップシステムについて

1. システムの概要(P2～4)
2. システムの利用手順とメリット(P5～11)
3. システムの利用料金(P12～14)
4. システムを活用した政策展開(P15～18)
5. 今後のスケジュール(P19～21)

1. システムの概要

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- システムの活用により技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保
- システムの構築に向け官民（参加団体：日建連、全建、建専連、全建総連 等）で検討を進め、平成30年秋に運用開始予定
- 運用開始初年度で100万人の技能者の登録、5年で全ての技能者（330万人）の登録を目標

<参考> 新しい経済政策パッケージ（H29.12.8閣議決定）（抄）

第3章 生産性革命

（2）第4次産業革命の社会実装と生産性が伸び悩む分野の制度改革等

④建設分野

- 建設技能者の就業履歴等を蓄積する建設キャリアアップシステムの来年秋の構築等により、現場管理や書類作成・人材育成の効率化、技能や経験が適正に評価される環境整備を行う。

①技能者情報等の登録



【事業者情報】

- ・商号
- ・所在地
- ・建設業許可情報 等

【技能者情報】

- ・本人情報
- ・保有資格
- ・社会保険加入状況等

【現場情報】

- ・現場名
- ・工事の内容 等

②カードの交付・現場での読取



現場入場の際に読み取り



技能者にカードを交付

③システムによる就業履歴の蓄積

技能者情報のイメージ

	ID	123456789012
	氏名	建設 太郎
	生年月日	S55 1980/07/28
保有資格		
	登録基幹技能者	型枠 2016.06.20
	技能講習	玉掛け 2008.05.21
	特別教育	ロープ高所作業 2005.11.09
社会保険加入状況		
<input type="checkbox"/>	建保	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	年金	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	雇用	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	協会建保	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	厚生年金	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	建退共	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	退職金共済	<input type="checkbox"/>

技能者の保有資格や社会保険の加入状況をシステム上で確認することが可能に

技能者の就業履歴（いつ、どの現場で従事したかの実績）が蓄積される

就業履歴情報のイメージ

雇用事業者	現場名	就業年月	就業日数
○建設	××ビル	2019.6	22日
○建設	□□住宅	2019.7	19日
○建設	国道△△号	2019.8	11日
計	3現場		52日

技能者の処遇改善が図られる環境を整備

※システム運営主体
（一財）建設業振興基金3


1. 基本理念・基本方針

- 技能者の経験が蓄積されるシステムを構築し、評価に応じた処遇改善などの**技能者を巡る環境の改善**等を目指す
- 技能者の本人情報について、その真正性を確認した上で、各種情報を業界統一のルールで登録・蓄積するシステムとする
- 簡易で低コストのシステムとする一方、個人情報の適切な保護にも留意する

2. 登録する情報・利用手順

①技能者、事業者の申請（申請は任意）に基づき、振興基金が以下の情報をシステムに登録

技能者情報	事業者情報
本人情報（住所、氏名、生年月日、性別、国籍）	
必須情報 ○社会保険加入状況 ○建退共手帳の有無 等	○商号 ○所在地 ○建設業許可情報 許可番号・許可の有効期間・建設業の種類
推奨情報 ○保有資格、研修受講履歴 ○健康診断受診歴の有無 等	



②元請が現場の開設時に以下の情報を登録


現場情報

- 現場名及び住所、元請事業者名
- 工事の内容が分かる項目 等

③現場入場時にカードリーダー等でカードを読み取る

就業履歴

- 現場入場実績（日単位）等



※上記の申請手続きは、利用者の利便性確保のため、インターネット申請、郵送申請、窓口申請の手法を認める

3. 技能者に交付するカード（キャリアアップカード）

- 技能者の申請に基づき、運転免許証等で本人確認をした上で交付
- 技能者は申請方法に応じた実費（2500円又は3500円）を負担し、有効期間は10年。
- 将来的には技能者の技能に応じた色分けを検討。当面は登録基幹技能者をゴールドカードとする。



4. 事業者のシステム利用・情報閲覧の範囲

- 事業者がシステムを利用する際は、事業者の資本金に応じた登録料や利用の程度に応じた利用料の負担が必要。
- システム利用料を負担した他の建設事業者は技能者本人及び所属事業者が同意した範囲内で技能者情報の閲覧が可能。

5. システムの運営主体・普及目標

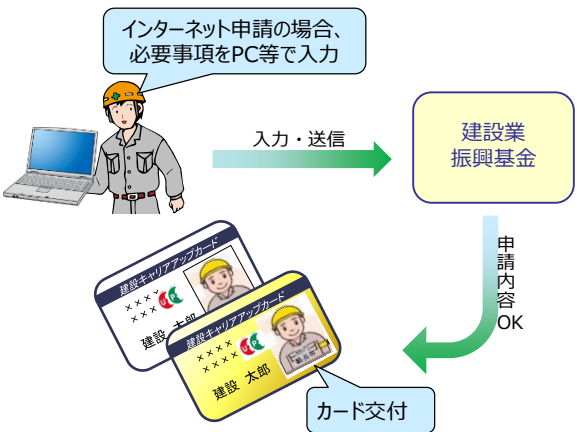
- 運営主体は（一財）建設業振興基金。
- 運用開始後1年で約100万人の登録を目指し、開始後5年を目途に全ての技能者の登録を目指す。

2. システムの利用手順とメリット

① システムの利用にあたっての登録

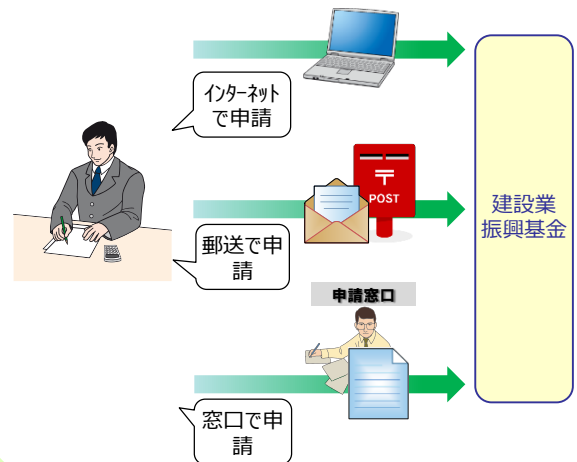
技能者

- インターネット、郵送、窓口のいずれかで申請
※所属事業者等による代行申請可



事業者

- インターネット、郵送、窓口のいずれかで申請



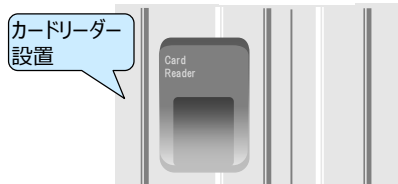
② 現場におけるシステムの利用

元請事業者

- 現場開設時に現場情報を登録



- 現場にカードリーダーを用意



技能者

- 現場入場時にカードをカードリーダーで読み取り



③ システム利用の効果

技能者

- 就業実績がシステムに蓄積される

建設太郎 / 技能者就業履歴			
現場名	就業年月	就業日数	立場
○○ビル	2016.06	10日	職長
△△マンション	2016.06	4日	作業責任者
□□ビル	2016.06	8日	
合計		22日	

【活用例1】

- ・自身の経歴等が簡易に一覧できるようになり、更なる技能の研鑽につなげていくことができる。
- ・再入職する際などに、自身の技能や就業履歴を証明できる。
- ・将来的にシステムに蓄積されたデータを基に統一的な技能者の能力評価基準や技能・職歴などに応じたきめ細かな賃金体系の検討を進める（労務単価への反映も視野）

元請事業者・上位下請事業者

- 技能者本人が現場に入場中（工事期間中）は技能者情報が閲覧可能

現場名	発注者	技能者
Aビル	○×建設	建設 次郎
B道路	○×建設	建設 太郎
C住宅	○×建設	建設 三郎

【活用例2】

- ・複数の現場における技能者の就業状況や現場状況をシステムで確認（日単位）できるようになる。
- ・工事完了後であっても、現場の入場実績を確認できるため、現場のコンプライアンスやトレーサビリティの確保が期待できる。
- ・元請事業者は交付する建退共の証紙の必要枚数の確認、技能者は手帳への貼付け状況の確認が容易になる。

3 稼働中の現場における元請、上位下請閲覧ページ (イメージ)

稼働中の現場における元請事業者、上位下請企業は

- ・ 自社に関する現場を一覧表示 (①) でき、選択により現場情報 (②) を閲覧できる
- ・ 現場に入退場する技能者の情報を一覧表示 (③) できる
※③は工事期間中のみ閲覧可能
- ・ 一覧から選択して技能者情報・就業履歴情報を閲覧できる (1-①,②へ)
- ・ 有資格者数、社会保険加入率などを集計できる機能 (④) を備える予定

① 自社に関する現場一覧

自社に関する現場一覧		
雇用事業者	〇〇建設(株)	
就業年月	自 2019/6/1 至 2019/6/30	
現場名	住所	元請名
××アパート新築工事	千葉県〇〇市〇〇〇〇1-23	〇〇建設
△△ビル新築工事	東京都〇〇区××2-4	××JV
□□マンション改修	東京都△△市△△6-1	△△建設

② 現場情報

現場情報	
現場ID	123456789012
現場名	××アパート新築工事
住所	千葉県〇〇市〇〇〇〇1-23
元請名	〇〇建設
発注者	△△住宅
工期	2019.06 ~ 2019.09
工事内容	
建築	
用途	共同住宅 建築面積 〇〇〇〇㎡
構造	木造 延床面積 〇〇〇〇㎡
階数	〇階
土木	
工種	工法
概要	

③ 技能者情報一覧

作業員履歴一覧情報							
元請上位事業者	□□建設(株)						
現場名(場所)	××アパート						
就業年月	自 2019/6/1 至 2019/6/30						
事業者名	技能者名	就業 日数	作業 内容等	立場	健康診 断受診	社会保 険加入	建退共 加入
〇〇建設(株)	建設 太郎	20	大工工事		○	○	○
〇〇建設(株)	〇〇 〇男	21	大工工事	職長	○	○	○
〇〇建設(株)	〇〇 〇美	18	大工工事		○	○	○
××工務所	□□ 〇郎	15	大工工事		○	○	○
××工務所	□□ 太郎	20	電気設備工事	職長	○	○	○
××工務所	□□ 花子	20	電気設備工事		○	○	○

④ 技能者情報の集計

入場中技能者情報	
所属技能者数	〇人
有資格者数	〇人
登録基礎技能者	〇人
技能士	〇人
免許・資格	〇人
技能講習	〇人
特別教育	〇人
その他受講歴	〇人
保険加入率	〇% 3保険加入
健康	〇% 適用除外を 除く
年金	〇%
雇用	〇%
建退共加入者	〇人
中退共加入者	〇人

一覧から選択して
技能者情報・就業
履歴情報を閲覧で
きる (1-①,②)

4 システムに登録した事業者の閲覧 (イメージ)

システムに登録した事業者は

- ・ 他社の事業者情報 (①) を検索して閲覧できる
- ・ 本人及び所属事業者が同意した範囲で、所属技能者一覧 (②)、技能者情報 (③)、就業履歴情報 (④) を閲覧できる

① 事業者情報 (他社)

事業者情報	
事業者ID	123456789012
商号・名称	〇〇建設(株)
代表者名	〇〇 〇太郎
所在地	東京都〇〇市 〇〇〇〇-1-23-4
電話番号	03-1234-1234
建設業許可(業種・番号・年月)	
123456	13 東京都知事 H32年07月10日まで
特 土 建 鋼 筋	
般 大と石屋夕内圍水	
社会保険加入情報(総理記号等)	
健保	協会健保 12345678
年金	厚生年金 12345678
雇用	--- 13201-012342
労災	--- 13101-012345-000
退職金共済	
建退共	〇 共済契約者番号 123456765

※他社が閲覧する場合、番号の漏洩防止のため、社会保険加入状況、退職金共済の情報は一部のみ表示

② 所属技能者一覧 (同意している時)

所属技能者一覧							
雇用事業者 〇〇建設(株)							
ID	氏名	性別	職種	年齢	健保	年金	雇用
123456789012	建設 太郎	男	1 大工	49	○	○	○
			2 足場とび工				
123456789013	〇〇 〇男	男	1 宮大工	52	○	○	○
123456789015	〇〇 〇次郎	男	1 大工	42	○	○	○
123456789016	〇〇 〇彦	男	1 足場とび工	31	○	○	○
123456789018	〇〇 〇美	女	1 木工	24	○	○	○

本人及び所属事業者が
同意した範囲で技能者
情報・就業履歴情報を
閲覧 (一部のみ表示)

③ 技能者情報 (同意している時)

本人情報		証	開
	ID	123456789012	■
	氏名	建設 太郎	☑
	生年月日	S45 1970/07/07	☑
	年齢	49歳	☑
	性別	男	☑
	住所	東京都〇〇市 〇〇〇〇-1-23-4	☑
	電話番号	03-1234-5678	■
	緊急連絡先	03-1234-1234	■
	FAX	03-1234-5679	■
	メール	〇〇@〇〇.co.jp	■
国籍	日本	☑	
在留期間		☑	

④ 就業履歴情報 (同意している時)

技能者就業履歴			
ID: 123456789012			
氏名: 建設 太郎			
期間: 2018年06月01日 ~ 2019年06月30日			
所属事業者	現場名	就業年月	就業日数
〇〇建設(株)	東京都〇〇区 △△アパート	2018.06	19日
〇〇建設(株)	埼玉県××市 〇〇マンション	2018.07	18日
〇〇建設(株)	千葉県〇〇市 ××アパート	2019.06	20日
計 84現場			245日

※本人もしくは所属事業者が同意していない時は閲覧不可

- ・建設キャリアアップシステムでは、技能者本人の申請により、運営主体が、技能者本人の保有する資格や免許などの情報をシステムに登録。
 - ・登録された資格や免許などの情報は、技能者情報として閲覧が可能。
- ※現場で蓄積された就業履歴については、就業履歴情報に表示され、閲覧が可能。

技能者が申請する内容(資格等)

入力情報	項目	記載例	
資格 (取得年月日・登録年月日・有効期限年月日のいずれか一つ記入)	保有資格①資格名	資格名: 登録〇〇基幹技能者 更新年月日: 2016年10月10日	
免許 (取得年月日・登録年月日・有効期限年月日のいずれか一つ記入)	保有資格①取得年月日		
技能講習 (取得年月日・登録年月日・有効期限年月日のいずれか一つ記入)	保有資格①取得年月日		
特別研修 (取得年月日・登録年月日・有効期限年月日のいずれか一つ記入)	保有資格①取得年月日		
研修受講履歴(複数登録可)	研修①研修名		〇〇主任者
表彰(複数登録可)	表彰①名称		建設マスター
職種(複数選択可)	職種	型枠	
経験年数(職歴なども記載可能)	経験記入欄(技能者本人記入用)	型枠工事を20年。	
	経験記入欄(所属事業者記入用)	この技能者は型枠工事を20年経験したことを証明します。	

登録までの経験

技能者情報の閲覧イメージ

登録

登録された資格、免許などの名称や取得等の年月日が閲覧可能

登録された表彰の名称と受賞年月日が閲覧可能

本人情報 No.1-1		
ID	123456789012	
氏名	建設 太郎	
生年月日	S45 1970/07/07	
年齢	46歳	
性別	男	
経験年数	20年	住所 東京都〇〇市 〇〇〇〇-1-23-4
		電話番号 〇〇-1234-5678
職種		
左官工		
保有資格		
登録基幹技能者講習	登録左官登録基幹技能者	2013.12.20
技能検定	一級左官技能士	2005.03.20
建築士	二級建築士	2012.01.18
技能講習	足場の組立て等作業主任者	2000.04.05
特別教育	ロープ高所作業	2000.02.17
表彰実績		
優秀施工者国土交通大臣顕彰	2014.10.20	

【就業履歴情報の閲覧イメージ】

技能者就業履歴 No.2-1						
ID: 123456789012						
氏名: 建設 太郎						
期間: 2019年6月01日～2024年5月31日						
所属事業者	現場名	就業年月	就業日数	職種	立場	作業内容
〇〇建設(株)	東京都〇〇区 △△ビル	2019.06	10日	左官工		壁塗り作業
〇〇建設(株)	埼玉県××市 □□マンション	2019.08	18日	左官工	職長	吹き付け作業
〇〇建設(株)	千葉県〇〇市 ××アパート	2020.04	10日	左官工	職長	壁塗り作業 吹き付け作業
計84現場			1245日			

現場で蓄積された就業履歴の合計日数

技能者の処遇改善

○経験や技能に応じた処遇の実現

- ・システムに蓄積される就業履歴や保有資格を活用し、技能者をレベル分けする能力評価基準を検討（レベルに応じてキャリアアップカードを色分け）
- ・技能者の能力評価と連動した専門工事企業の施工能力等の見える化も進め、良い職人を育て、雇用する専門工事企業が選ばれる環境を整備

現場管理の効率化

○社会保険加入状況等の確認の効率化

- ・現場に入場する技能者ひとりひとりについて、社会保険の加入状況等の確認が効率化

事業者名	技能者名	就業日数	社会保険加入
〇〇建設	〇〇〇男	11	○
〇〇建設	建設太郎	10	○
××工務所	□□□子	20	○
××工務所	□□次郎	20	○



○書類作成の簡素化・合理化

- ・施工体制台帳や作業員名簿の作成の手間やミスを削減

作業員名簿（イメージ）

氏名	職種	生年月日	現住所
〇〇男	型枠工	〇年〇月〇日	〇〇県〇〇市
建設太郎	型枠工	△年△月△日	△△県△△市
□□子	鉄筋工	□年□月□日	□□県□□市
□□次郎	足場とび工	■年■月■日	■■県■市

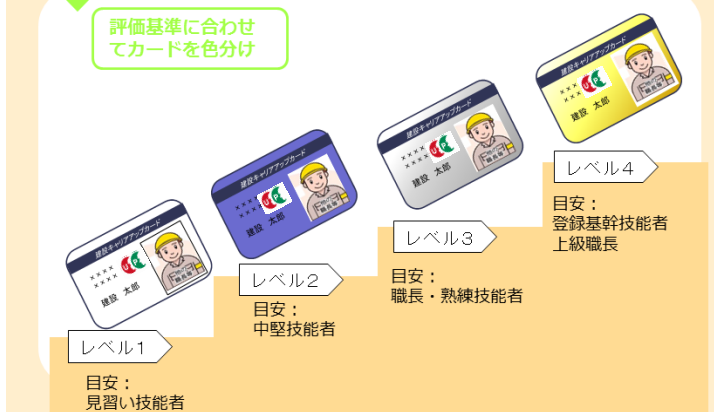
※赤枠部分にシステムに蓄積された情報が反映される

技能者の能力評価基準の要素

- 保有資格（キャリアアップシステムに登録される）
- 就業履歴（キャリアアップシステムに蓄積される） 等

これらを組み合わせて評価

評価基準に合わせてカードを色分け



○建退共関係事務の効率化

- ・技能者に証紙を交付する際の事務作業が軽減（現在は手作業で必要書面を作成している）

※建退共において、証紙に替えて電子的に就労実績を把握する方式の導入について検討が進められている

キャリアアップシステム

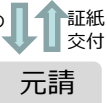


就労実績を把握

就労実績の報告

下請

元請



○建設キャリアアップシステムは、技能者一人ひとりについて、どのような資格を持ち、どの現場で何日就労したかなどを業界横断的に登録・蓄積する仕組み。

➡業界全体で、技能者一人ひとりの技能や経験をしっかりと“認め”“育てる”仕組み

○技能や経験の簡易で客観的な蓄積

- ・キャリアアップカードをカードリーダーにかざすだけで自動的に蓄積
- ・どこの現場であっても共通のルールで蓄積
- ・情報は電子的に蓄積



就業履歴情報(イメージ)

雇用事業者	現場名	就業年月	就業日数
○建設	××ビル	2019.6	22日
○建設	□□住宅	2019.7	19日
○建設	国道△△号	2019.8	11日
計	3現場		52日

○技能や経験の確認や証明の簡易化

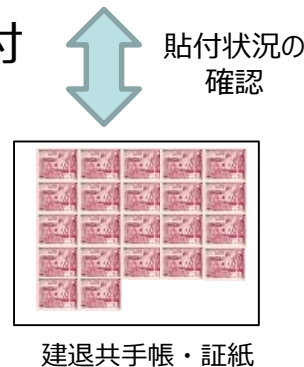
- ・取得した資格やこれまでの経歴を簡易に確認、更なるスキルアップを促進
- ・自身の経歴などを簡易に証明

本人情報		就業履歴
	0123456789 建設 太郎 S60/07/01 男 03-xxxx-xxxx	○建設(株) ・A市住宅建設工事 ・X市住宅建設工事 就業日数 計○○日
保有資格		
×××資格	○○○研修受講	



○建退共証紙の確実な貼付

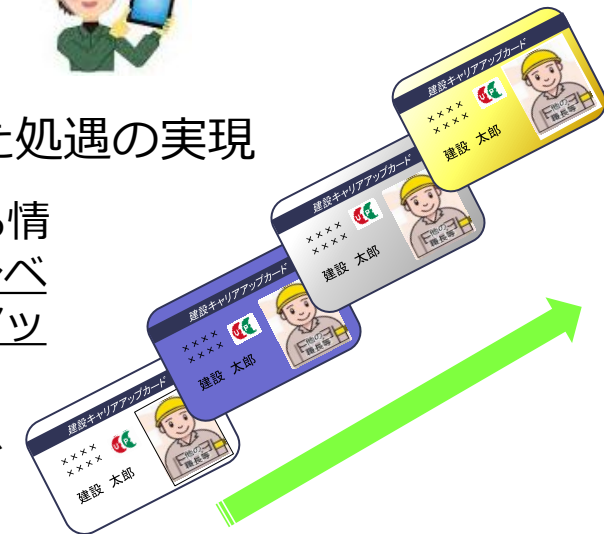
- ・システムに蓄積された就業履歴を活用し、建退共手帳への証紙の貼付状況の確認が容易に



○経験や技能に応じた処遇の実現

- ・システムに蓄積される情報を活用し、技能者レベルに応じたキャリアアップカードの色分け

※当面は、登録基幹技能者に対し、ゴールドカードを交付



※その他、システム利用やカード取得・保有によるメリットについて検討中

3. システムの利用料金

システムの普及目標

- 「全ての技能者、事業者の登録と全ての現場での就業履歴の蓄積」を目指す。
- 具体的には、初年度100万人の技能者登録、5年で全ての技能者、事業者の登録を目指す。

技能者の利用料金

【インターネット申請の場合】
2,500円

【郵送・窓口申請の場合】
3,500円

・カードの有効期間は**10年**
(Eレベルについては3年)

= 1年当たり250円又は350円

※Eレベル：本人確認書類未提出者

※有効期間内にカードの紛失、破損等があった場合、発送費を含む実費相当（約1,000円）で再発行予定。

事業者の利用料金

【料金体系】

料金の種類		設定方法	支払い	対象
①事業者登録料		資本金	5年毎	全事業者（個人事業主を含む）※
システム利用料	②管理者ID利用料	管理者IDの利用数	毎年	全事業者（個人事業主を含む）
	③現場利用料	技能者の就業履歴回数	毎年	元請として現場を登録する事業者

※事業者登録料については、一人親方は無料。

①事業者登録料（5年ごと）

資本金	新規・更新（円）
500万円未満	3,000
500万円以上1,000万円未満	6,000
1,000万円以上2,000万円未満	12,000
2,000万円以上5,000万円未満	24,000
5,000万円以上1億円未満	30,000
1億円以上3億円未満	60,000
3億円以上10億円未満	120,000
10億円以上50億円未満	240,000
50億円以上100億円未満	300,000
100億円以上500億円未満	600,000
500億円以上	1,200,000

※一人親方は無料。 ※消費税（8%）を含む。

②管理者ID利用料（毎年）

ID数	料 金
1	2,400

※以降、1IDごとに2,400円。

・管理者IDの取得により、事業者情報の管理、現場の登録、技能者情報の閲覧、帳票出力が可能。

③現場利用料（毎年）

就業履歴回数	料 金
1回	3円

・現場に入場する人日単位で課金

【試算の前提】

- ①現場利用料は、元請として現場を登録する事業者のみが負担（下請となる場合は負担せず）。
- ②現場利用料については、技能者1,000人日/完工高1億円と仮定し、年間完成工事高のうち、7割の現場で就業履歴の蓄積があると想定。

◆事業者モデル（一人親方）

項目	規模
資本金	-
年完工高	1,000万円
管理者ID取得数	1 ID
種別	
試算	
事業者登録料	0円/年
管理者ID利用料	2,400円/年
現場利用料	420円/年
合計	2,820円/年

◆事業者モデル①

項目	規模
資本金	1,000万円
年完工高	1億円
管理者ID取得数	1 ID
種別	
試算	
事業者登録料	2,400円/年
管理者ID利用料	2,400円/年
現場利用料	2,100円/年
合計	6,900円/年

◆事業者モデル②

項目	規模
資本金	1億円
年完工高	10億円
管理者ID取得数	1 ID
種別	
試算	
事業者登録料	12,000円/年
管理者ID利用料	2,400円/年
現場利用料	21,000円/年
合計	35,400円/年

◆事業者モデル③

項目	規模
資本金	10億円
年完工高	100億円
管理者ID取得数	5 ID
種別	
試算	
事業者登録料	48,000円/年
管理者ID利用料	12,000円/年
現場利用料	210,000円/年
合計	270,000円/年

◆事業者モデル④

項目	規模
資本金	50億円
年完工高	1,000億円
管理者ID取得数	10 ID
種別	
試算	
事業者登録料	60,000円/年
管理者ID利用料	24,000円/年
現場利用料	2,100,000円/年
合計	2,184,000円/年

◆事業者モデル⑤

項目	規模
資本金	500億円
年完工高	1兆円
管理者ID取得数	50 ID
種別	
試算	
事業者登録料	240,000円/年
管理者ID利用料	120,000円/年
現場利用料	21,000,000円/年
合計	21,360,000円/年

4. システムを活用した政策展開

- ・建設キャリアアップシステムの導入で確認が可能となる、技能者の保有資格及び就業履歴のデータを活用し、個々の技能者の知識や技能と組み合わせた「能力評価基準」を策定する。
- ・この能力評価基準に基づいて技能者を評価する枠組みを構築し、レベルに応じてキャリアアップカードを色分けすることで、技能者の技能や経験に応じた処遇の実現に向けた環境整備を行う。
- ・更に、この技能者の能力評価基準と連動した専門工事企業の施工能力等の見える化を進め、良い職人を育て、雇用する専門工事業者が選ばれる環境を整備する

能力評価基準の要素

- 保有資格（キャリアアップシステムに登録される）
- 就労実績（キャリアアップシステムに蓄積される）
- 職種に応じた知識・技能 等

これらを組み合わせて評価

※カードのカラーはイメージ

評価基準に合わせてカードを色分け

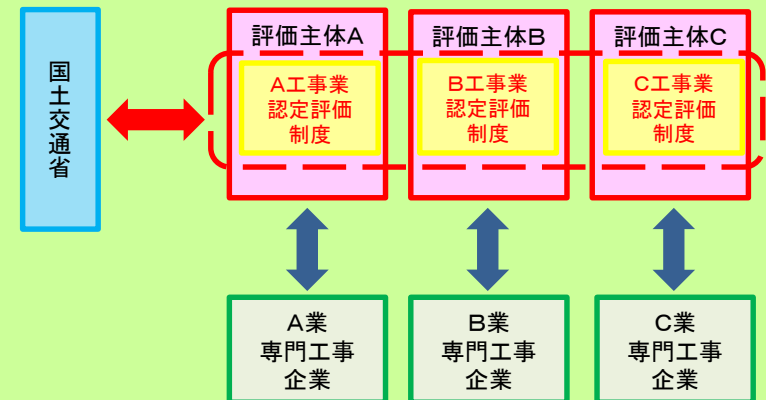


専門工事企業の施工能力等の見える化のイメージ

【見える化の対象項目（イメージ）】

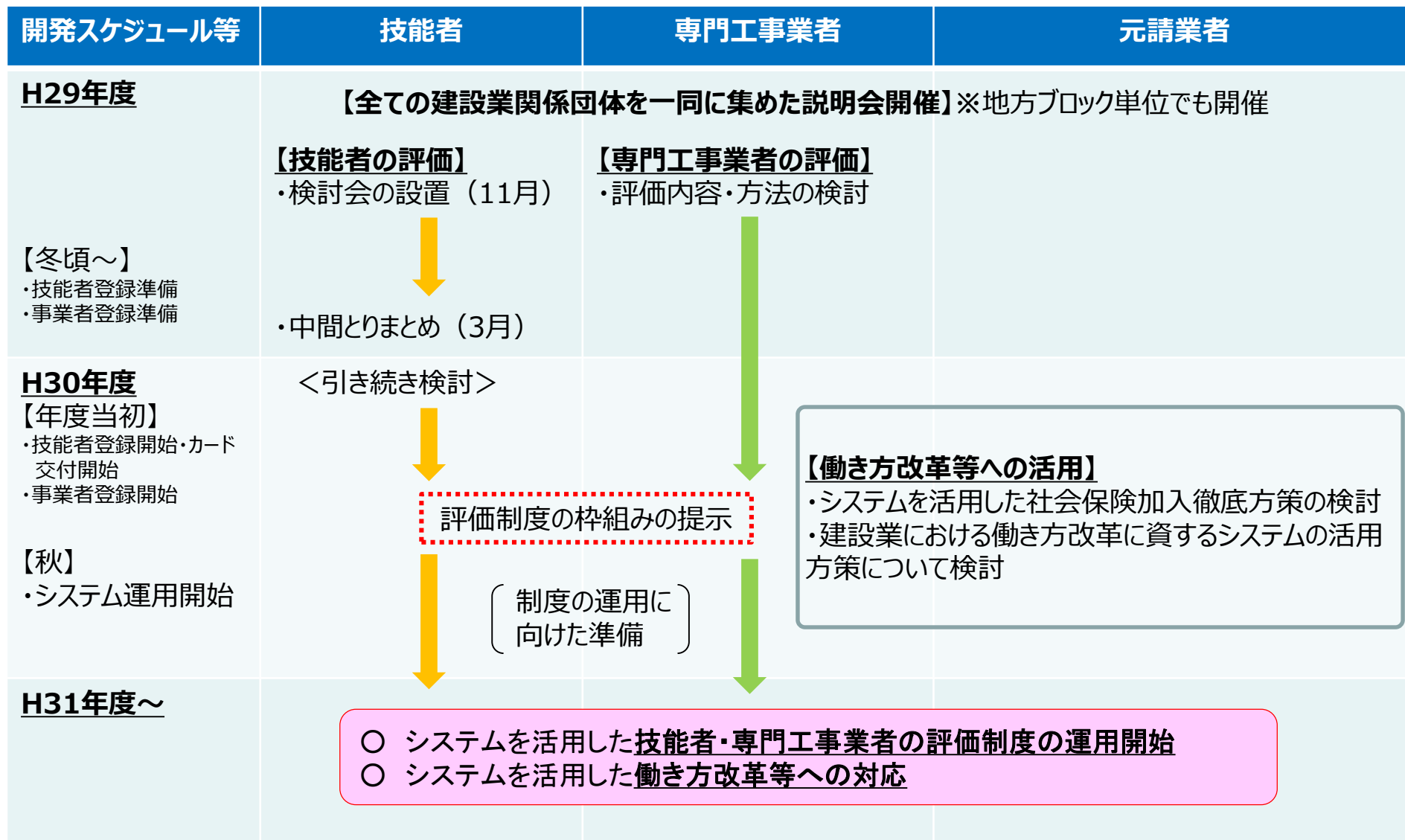
- 所属する技能者の人数・評価
※建設キャリアアップシステムに基づく技能者の能力評価と連動
- 表彰・工事実績
- 建機の保有状況
- 安全性（無事故期間 等）
- 処遇・福利厚生（社会保険等への加入状況 等）
- 人材確保・育成（研修制度 等）
- 地域貢献（災害復旧、地域活動への貢献 等）
- 経営状況 等

（将来的なイメージ）



※評価主体としては、専門工事業団体等が考えられる。

※各評価主体が行う企業評価の項目や手法についてガイドラインで定める。



【厚生労働省との連携】・システムを活用して技能者の処遇改善を図る取組を行う事業主に対する支援策について、当該取組の効果（能力開発促進、賃金向上など）を見極めながら、厚生労働省と検討を進める。

・建退共制度の一層の活用に向け、建退共における電子申請方式の導入に向けた動きと連携して検討を進める。

建設技能者の就業履歴や保有資格を業界統一のルールで蓄積する建設キャリアアップシステムが平成30年秋に運用開始されることを踏まえ、システムの導入が技能者の処遇改善に繋がるよう、システムに蓄積される情報を活用した建設技能者の能力評価のあり方について検討を行う「建設技能者の能力評価のあり方に関する検討会」を設置する。

1. 検討会委員

右記のとおり

2. 検討内容

- ・評価の客観性の確保
- ・技能者の能力を評価する要素
- ・評価に要するコスト（費用・時間・手間）
- ・業種間のバランス

※諸外国の能力評価制度の調査や国内の資格制度の整理も実施

※専門工事業団体等へのアンケート調査も検討

※専門工事企業の施工能力等の見える化への連動も視野に入れて検討

3. スケジュール

平成29年11月13日（月）	第1回検討会
12月14日（木）	第2回検討会
平成30年 1月29日（月）	第3回検討会
（時期未定）	第4回検討会

※状況に応じ第5回検討会の開催も検討

3月 中間とりまとめ

委員

○座長

芝浦工業大学建築学部建築学科 教授	蟹澤 宏剛○
千葉経済大学経済学部経営学科 准教授	藤波 美帆
（一社）日本型枠工事業協会 常任理事	後町 廣幸
（一社）日本建設躯体工事業団体連合会	青木 茂
（一社）日本機械土工協会 労働安全委員会委員	鈴木 喜広
（公社）全国鉄筋工事業協会 理事	池田 慎二
（一社）日本左官業組合連合会 理事 技術顧問	鈴木 光
（一社）全国建設室内工事業協会 理事	武藤 俊夫
（一社）日本電設工業協会 常務理事	中山 伸二
全国管工事業協同組合連合会 理事・技術部長	大熊 泰雄
（一社）日本空調衛生工事業協会 人材委員会委員	安達 孝
（一社）日本建設業連合会	能登谷 英俊
（一社）全国建設業協会 業務執行理事	星 直幸
（一社）全国中小建設業協会 常任理事	河崎 茂
（一社）住宅生産団体連合会 工事CS・安全委員会副委員長	宗像 祐司
全国建設労働組合総連合 技術対策部長	小倉 範之
（一財）建設業振興基金建設キャリアアップ運営準備室 総括研究部長	田尻 直人

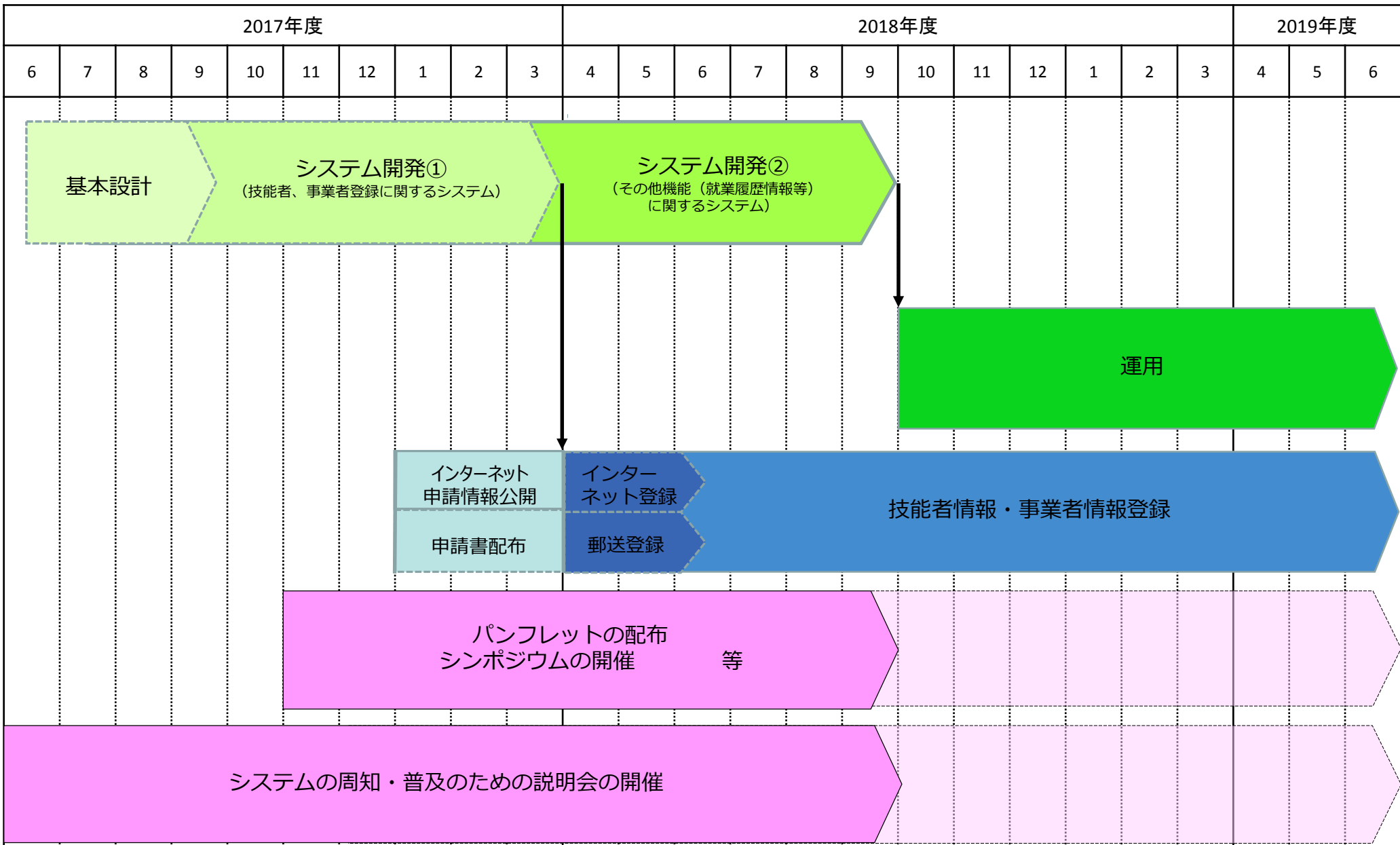
オブザーバー

（一社）建設産業専門団体連合会 常務理事	道用 光春
厚生労働省職業安定局雇用開発部雇用開発企画課 建設・港湾対策室長	吉野 彰一
厚生労働省人材開発統括官能力評価担当参事官室 上席職業能力検定官	奥野 正和
国土交通省住宅局住宅生産課 木造住宅振興室長	武井 利行

【事務局】

国土交通省土地・建設産業局 建設市場整備課長	出口 陽一
国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課労働資材対策室長	矢吹 周平
国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室長	高田 龍

5. 今後のスケジュール



10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月以降
-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	------

